

当院で成人脊柱変形の手術治療を受けた
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター整形外科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）や検査結果を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

成人脊柱変形手術患者の骨盤固定の有無と術後臨床成績に及ぼす影響

【研究の背景と目的】

成人脊柱変形症は、腰痛、歩行障害、日常生活の悪化、外見上のコンプレックスなどの健康関連の生活の質（HRQOL）が大きく損なわれてしまう疾患です。治療としては保存的治療では改善に限られるため、固定矯正手術が選択されます。

固定矯正手術では、固定範囲をどこまで伸ばせばいいか骨盤固定をした方がいいかなどその固定方法がさまざまありますが、どのような固定方法が患者さんのHQOLを高められるのか明確な指標がありません。

今回の研究は成人脊柱変形での固定矯正手術を受けた患者さんの診療記録を調査して、実施された固定方法と患者さんのHRQOLや治療成績との関係について検討します。

【対象となる方】

2012/4/1 から 2026/3/31 の期間内に当院で成人脊柱変形に対する手術を行った患者さん

【使用する診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

年齢、性別、身長、体重、画像検査結果、アンケート結果、手術記録、合併症

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日まで実施され、約 400 名の患者さんにご参加いただく予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本整形外科学会誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科 片柳 順也 講師

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科 担当者：小沼 宏樹 助教 PHS:1440

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50 電話番号：048-965-8545（医局直通） 平日 9:00-17:00

以上